



東松都発第050/00号

平成19年 5月 1日

国土交通省道路局長 様

東松山市長 坂本 祐之



中期的な計画作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、下記事項について別紙のとおり回答いたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について
  - (1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
  - (2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
  - (3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

作成者 東松山市

都市整備部都市計画課長 岩田利二

電話0493-23-2221

**(1) 道路整備の重点化を進める上で、特に優先度の高い政策**

東松山市内の幹線道路は、平成19年3月25日に、一般国道407号バイパスが全線暫定供用開始になり、市内の主要幹線道路はほぼ整備が完了しましたので、交通渋滞の解消や地域の活性化に期待しております。

今後におきましては、道路整備に十分な効果を期待できる道路として、中心市街地における幹線道路の整備を優先的に取り組むことにしております。

重点路線としては、整備中の東松山駅周辺整備事業に係る駅前広場や都市計画道路第一小学校通線でもあります「まるひろ通り」のほか、今年度から駅前から国道407号までの県道東松山停車場線の拡幅整備についても、県事業として早期完成を目指してまいります。

関越自動車道東松山インターは開設以降、一般国道254号バイパスに接近する区間までが変則の導流路構造であり、通過車両の安全性が問題であります。一方、周辺の道路では、通勤時など慢性的な渋滞が生じているため、沿線地域の環境悪化から渋滞解消に対する要望など、市民・道路の利用者から寄せられる現状があります。

また、市の土地利用計画としても、インター周辺の土地利用（産業誘致）は最も重要なエリアと位置づけており、アクセス強化は不可欠でありことから、埼玉県、県警と東松山市の「東松山インターチェンジ周辺交通安全対策検討会」を、平成18年度立ち上げ、改良改善に向けて取り組んでいる状況であります。

今後、既存の東松山インターと、それに接続する国道の安全性・利便性の向上のため、施設の改良改善を願いたい。

**(2) 道路整備の効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと**

・ 中期的な道路整備の優先度を定めること。特に、道路整備の長期化は、道路行政について市民の理解が得られない要因ともなります。

長期未整備都市計画道路については、整備の可否(存続・廃止)を明確にする必要があります。

**(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること**

- ・ 移管された国県道の施設修繕、街路樹の剪定・除草回数など、適正な維持管理のため、財源確保を願いたい。

以上